



別所憲法9条の会 たより

2022年3月第167号

安保法制廃止・憲法改悪許さない全国署名で対話を・戦争させない・共謀罪は廃止に！

日脚が日に日に伸びて春らしい日差しを感じるようになってきました。長池公園は下草や枝が整備されとても明るく見渡せ、鳥のさえずりも盛んになってきました。5日は啓蟄、草木が芽吹き始め、巣籠っていた虫たちもそろそろ出てきそうです。

ロシア軍のウクライナ侵攻により、爆撃された市街地や100万人超の避難民という現実には胸の痛む毎日です。国連緊急特別会合決議は、141か国の賛成多数で採択され、ロシアの一方的な侵略を許さずウクライナを支持するという世界の意思を示すことができました。プーチン大統領による核発言の非道な脅しには、核兵器の依存を強めるのではなく、非核三原則を大切に守り「核兵器なき世界」を訴え続けなければならないと改めて強く思います。



3月のご案内

3月例会

日時 3月26日(土) 13:30~16:00

会場 長池公園自然館 レクチャールーム

内容 **安倍政権の検証映画『2887』上映会**

首相在任日数が歴代最長の2887日となった安倍氏の足跡を、澤地久枝・小出裕章・蓮池透・松元ヒロ・斎藤貴男さんなどのインタビューでたどる。

この映画が初監督の河野優司さんの言葉

『安倍首相個人よりも、憲法を破壊するアベ的な自民党政治が描けたと思う。こんな危うい社会があったという8年間と、それでも異を唱えて、しっかりものを言う人たちがいたことを記録できた』

皆さんお誘いあわせてご参加ください。

参加費 1,000円(映画の鑑賞代金として映画作成者に支払います)

★新型コロナウイルスは、まだまだ感染拡大など心配されています。

油断できません。十分気をつけて会館の指示に従いご参加ください。



堀之内駅前での宣伝
3/21(月) 10:00~
改憲させない・9条守ろう
軍事費削ってコロナ対策に

3/19(土) 10:30~
NO WAR 八王子アクション
JR 八王子駅北口

3/11(金) 18:00
新宿中央公園
ロシアのウクライナ侵略抗議
新宿大アクションパレード

3/19(土) 14:00
改憲発議反対・
戦争させない19日行動
衆議院議員会館前

**止めよう!
改憲発議**



2月例会報告

「今あらためて自衛隊の実態を調べてみよう」をテーマに、まず、報告(NHKスペシャル『自衛隊の30年~幹部たちの告白~』を中心に)を受けて意見交換をしました。

「専守防衛」を変容させてきた経緯、自衛隊の海外派遣の経緯と現状。最近の米軍との共同演習の拡大などの説明を受け、国連憲章51条についても報告され、何故このような条項が有るのかなども話になりました。

★日本政府の情報がお粗末すぎる、アメリカ言いなりでは？ 事実は分かっている国民に知らせていないのでは？

★日本の基地から米海兵隊がハワイなどに引き上げている現状。自衛隊を米軍の代わりにしようとする動き？

★国連常任理事国に問題がある。いつまでも変わらないのはなぜ？

★ロシアのウクライナ侵略についても、介入出来る組織がないのは問題。外交を上手にしながらの国も有るが。

★日本はもっと外交を上手にして、国民が安心して生きてゆけるように、食料自給率の充実などをしっかりしてほしい。

★日本経済も軍需産業に頼る状況になっている。儲けたいばかりでは戦争になる。人々の暮らしに役立つ企業ばかりになってほしい。今、近江商人の考えを受け継ぐ動きもあり、希望だ。

★ロシアのウクライナ攻撃についても、外交での終息を願いながら意見交換し、個人の呼びかけのスタンディングのお誘いもしました。





う〜ん、う〜ん、頭の中をぐるぐると歩き回ってばかりいる。もう何日も。ロシアーウクライナ戦争、なぜこうなった？ どうしたら終結する？ ロシアが侵攻したのはダメ、絶対ダメ！ でも、それ以上は何をどう考えたら良いのか、乏しい情報源から得たいくばくかの情報をかき集めてはまたもや、う〜ん、う〜ん、うなる。

あまりにたくさんの切れ切れのニュースや論考が行き交い、頭の周りを飛び回っているから、どこから考え始めたらよいものやら、それすらわからない。けれども、たくさんの切れ端をつなぎながら、整理して行くしかない。

ウクライナのゼレンスキー大統領は今、徹底抗戦のために西側諸国に戦争への協力を求めている。各国からの義勇兵も募集している。（これは国連憲章違反とか。）デンマークは送り出しを認めるとの声明。けれど、義勇兵が死のうと各国政府に責任はない、義勇だからと。アメリカとヨーロッパの国々はウクライナの運命が自国に及ぶのを恐れて、ミサイル、戦車、弾薬、お金を送る。大規模の経済制裁に乗り出す。NATOに加盟せず中立国であるスウェーデン、フィンランド、スイスまでもがそれぞれの協力をし始める。ドイツは大幅な協力へと方針を変えた。国連ではロシアは国連憲章違反とロシア非難決議を141か国の賛成で採択した。反対と棄権の国は少数。日本の国会でも、れいわ新選組のわずかな反対を物ともせず、ロシア非難決議が行われた。

ちょっと待てよ、わたしにはここが気持ち悪い。世界の紛争を調停する国連が国連憲章違反だと非難決議を行ったのはわかるし、日本の衆参両院の国会が国としての態度を決めようというのも理解できる。でも、それでいいのか。ロシアが悪い、プーチンが悪いと叫んでいれば戦争を終わらせることができる？ たとえ、終わらせることができたとしても、その後の互いの関係は最大限のグクシャク、互いの信頼構築はほぼ永遠に不可能となるだろう。わたしたちが「戦争反対！ロシアの侵攻反対！」と、ウクライナの人、ロシアの人、世界各国の人と連帯するのはとても大事だと思う。けれども、政府レベルでファナティックに叫ぶのは恐ろしい。

（国会決議のあとに、「れいわ」が主張するように具体策が続けばそれも意味があるけれど、議員にドヤ顔をさせるだけではどうしようもない。）

ウクライナの情勢には歴史がある。親西欧派の大統領が選ばれ、親露派の大統領が選ばれ追放され、ロシア語母語住民の多い南東部のドネツク州／ルハンシク州とEU各国寄りの西部に位置する地域との対立（これは、2014年、ウクライナ政府と西欧が不承不承ながらもミンスク合意で一応の決着を見た）、アゾフ連隊に見られるような好戦的なネオナチ一派が中央政府の支持を得て勢力を拡大したり（この主張は陰謀論という声も聞く）、アメリカが自国有利のためにあれこれと手を伸ばし、ロシアが介入したり、この緩衝地帯の役割を果たしてきた国は常に振り回されてきた。

事情はある、事情は理解できる。しかしだ、「ウクライナに栄えあれ！」「祖国を守れ！」という叫びは人々を死に追いやり、傷つける。ナイフを振りかざして向かってくる者があれば、抵抗する、銃口を向けてくる者があって自分が銃を持っていれば撃つ、そういうことにはなる。けれども、政府が人々を鼓舞して戦わせるのはそれとはわけが違う。国民を戦わせて死んでしまったら、誰がそののちの国を立て直せるのか。武器やお金を送ることは死ぬ人を増やすこと。日本は防弾チョッキくらいなら良いだろうと送る。それとて、立派な軍事装備品だ。誰もそれについて吟味しない。

ソ連が崩壊したのち、ロシアとかつての連邦国は国を保っていくのに困難を抱えて来た。経済状態は良くなかったにもかかわらず、米西欧はロシアを敵国視してきただけだった。追い詰められた独裁者は作るべきではなかった。

中国、ロシアと隣り合っている日本、その日本はアメリカの同盟国で、米軍基地を数多く有している。このままアメリカの掌で踊らされている限りはわたしたちの未来は明るくない。日本は覇権国家ではない。緩衝地帯の役割が果たせるかもしれないのに。

以上、自分で書いて整理したいことの十分の一も書いていない。これからまだまだ頭の中でぐるぐると回り続ける。砂漠の砂粒のひとつであろうとも、十分な判断材料を集めることができなくとも、考えることは必要、考えることは意味があると信じる。砂粒の集合体が世界の思潮となることもあり得る。この「たより」が配られる頃には戦争が終結していることを願うばかり。ウクライナの人、ロシアの人に連帯を！（Ak.）

